

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	栄養と食事		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限	後期	教室名	202,203
担 当 教 員	赤尾 正	実務経験とその関連資格	野崎・松原徳洲会病院に16年間、管理栄養士として勤務(H1.4-H17.3)。栄養食事指導、栄養・食事管理、組織運営などに従事。			
《科目目標》						
管理栄養士・栄養士と連携し、各疾患や患者個々に応じた適正な栄養・食事管理を実践するために必要な知識を習得する。健康維持・増進のため日常の食生活の改善ポイントや具体的な方法について理解し、実践方法を把握する。						
《成績評価の方法と基準》						
【評価方法】終講試験100%						
【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ナーシンググラフィカ 疾病の成り立ち④臨床栄養学(メディカ出版)						
《授業外における学習方法》						
シラバスに従い、各授業前後にテキスト(該当するページ)を通読する。						
《履修に当たっての留意点》						
栄養と代謝で学んだ内容を基礎として、健康維持・増進のため日常の食生活の改善ポイントや具体的な方法について理解し、食事指導に活用する。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床栄養学の基礎について学び、栄養および栄養アセスメントを説明できるようになる	テキスト プロジェクター		実施する小テスト①について復習する
		各コマにおける授業予定	1 臨床栄養学の基礎知識①			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	栄養アセスメントおよび関係する医療・介護保険制度を理解し、説明できる	テキスト プロジェクター		事前にテキスト(該当するページ)を通読し、授業終了後に復習する。
		各コマにおける授業予定	1 臨床栄養学の基礎知識②			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	食品成分と食事摂取基準を理解し、実践方法を説明できるようになる	テキスト プロジェクター		事前にテキスト(該当するページ)を通読し、授業終了後に復習する。
		各コマにおける授業予定	2 食品成分と食事摂取基準			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	日常生活と栄養の関りを理解し、生活習慣における実践ポイントを説明できる	テキスト プロジェクター		事前にテキスト(該当するページ)を通読し、授業終了後に復習する。
		各コマにおける授業予定	3 日常生活と栄養			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	栄養食事療法における特徴を理解し、実践方法のポイントを説明できる	テキスト プロジェクター		事前にテキスト(該当するページ)を通読し、授業終了後に復習する。
		各コマにおける授業予定	4 療養生活と栄養①			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	栄養食事療法における特徴を理解し、実践方法のポイントを説明できる	テキスト プロジェクター	事前にテキスト(該当するページ)を通読し、授業終了後に復習する。
		各コマにおける授業予定	4 療養生活と栄養②		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	栄養食事療法における特徴を理解し、実践方法のポイントを説明できる	テキスト プロジェクター	事前にテキスト(該当するページ)を通読し、授業終了後に復習する。
		各コマにおける授業予定	5 疾患別の栄養食事療法①		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	栄養食事療法における特徴を理解し、実践方法のポイントを説明できる	テキスト プロジェクター	実施する小テスト②について復習する
		各コマにおける授業予定	5 疾患別の栄養食事療法②		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	栄養食事療法における特徴を理解し、実践方法のポイントを説明できる	テキスト プロジェクター	実施する小テスト③について復習する
		各コマにおける授業予定	5 疾患別の栄養食事療法③		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	栄養食事療法における特徴を理解し、実践方法のポイントを説明できる	テキスト プロジェクター	事前にテキスト(該当するページ)を通読し、授業終了後に復習する。
		各コマにおける授業予定	5 疾患別の栄養食事療法④		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	栄養食事療法における特徴を理解し、実践方法のポイントを説明できる	テキスト プロジェクター	事前にテキスト(該当するページ)を通読し、授業終了後に復習する。
		各コマにおける授業予定	5 疾患別の栄養食事療法⑤		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	栄養食事療法における特徴を理解し、実践方法のポイントを説明できる	テキスト プロジェクター	事前にテキスト(該当するページ)を通読し、授業終了後に復習する。
		各コマにおける授業予定	5 疾患別の栄養食事療法⑥		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	栄養食事療法における特徴を理解し、実践方法のポイントを説明できる	テキスト プロジェクター	事前にテキスト(該当するページ)を通読し、授業終了後に復習する。
		各コマにおける授業予定	5 疾患別の栄養食事療法⑦		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の特徴を理解し、実践方法のポイントを説明できる	テキスト プロジェクター	事前にテキスト(該当するページ)を通読し、授業終了後に復習する。
		各コマにおける授業予定	6 栄養食事指導の実際		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ・終講試験		配布する「まとめ課題」について復習する
		各コマにおける授業予定	まとめ・終講試験		